

- 14 **愛は勝つ(KAN)** 作詞：KAN 作曲：KAN (松崎しげる)  
8枚目のシングル。「邦ちゃんのやまだかつてないテレビ」の挿入歌に起用されたことで人気を博し、ロングセラーとなる。
- 15 **街角トワイライト(チャンネルズ)** 作詞：湯川れい子 作曲：井上忠夫  
3枚目のシングル。シングルチャートで1位に輝き、1992年の東宝映画『未来の想い出』の挿入歌に使われた。後に「ラッツ&スター」に改名。
- 16 **サマーガール(ザ・スパイダース)** 作詞：ささきひろと 作曲：かまやつひろし  
かまやつは、当時のビートルズ旋風によりマーギー・ビートやプリティッシュ・ビートに造詣を深め「ノー・ノー・ボーイ」「ハイ・ボーイ」などを作曲した。
- 17 **遠い渚(シャープ・ホークス)** 作詞：橋本淳 作曲：すぎやまこういち  
2枚目のシングル。「歌って踊れる異色の混血グループ」として結成、初舞台は「日劇ウエスタンカーニバル」だった。
- 18 **スワンの涙(オックス)** 作詞：橋本淳 作曲：筒美京平 (奥村チヨ)  
3枚目のシングル。前作の売り上げが伸び悩んだことを受けて、野口ヒデトのソロを中心に歌謡曲調の曲にした結果、オリコン7位のヒットとなった。
- 19 **夕陽と共に(ザ・ワイルド・ワンズ)** 作詞：加瀬邦彦 作曲：加瀬邦彦  
3枚目のシングル。ドラム担当の植田芳暁がソロで歌ってヒットした。当時、ドラムを演奏しながら歌うというのは珍しかったため注目を集めた。
- 20 **落葉の物語(ザ・タイガース)** 作詞：橋本淳 作曲：すぎやまこういち  
4枚目のシングル「君だけに愛を」のB面に収録。明治製菓のチョコレートCMで使用された。

**DISC5 恋する街角 演歌&ムード歌謡**

- 1 **恋する街角(山内恵介)** 作詞：下地亜記子 作曲：水森英夫  
9枚目のシングル。リズムカルで歌いやすくカラオケファンの人気も高い。山内恵介の人気曲ランキングでも上位に入ることが多い。
- 2 **釧路空港(山内恵介)** 作詞：鈴木紀代 作曲：水森英夫  
14枚目のシングル。この曲の発売を機に「釧路空港宣伝大使」に任命された。
- 3 **霧情(山内恵介)** 作詞：星野哲郎 作曲：水森英夫  
デビューシングル。16歳の時、作曲家・水森英夫の目に留まりスカウトされた。同郷同門の水川きよしと仲が良く、松任谷由実とも親交がある。
- 4 **カラオケ流し(山内恵介)** 作詞：大木野奈 作曲：茅大介  
山内恵介による北海道を舞台にした企画アルバムに収録。「北国の男心」を唄っている。
- 5 **船酒場-ふねさかば- (山内恵介)** 作詞：星野哲郎 作曲：水森英夫  
7枚目のシングル。『NHK歌謡コンサート』で北川大介、竹島宏と結成したイケメン演歌歌手トリオ「イケメン3」の一人としても活動している。
- 6 **四万十川(三山ひろし)** 作詞：千葉幸雄 作曲：中村典正  
8枚目のシングル。出身地である高知県を舞台にした楽曲で、2016年11月に10万枚を突破しゴールドディスクに認定され、第67回紅白歌合戦で歌唱した。
- 7 **望郷山河(三山ひろし)** 作詞：喜多條忠 作曲：中村典正  
11枚目のシングル。「けん玉演歌歌手」として注目され、日本けん玉協会から「けん玉大使」に任命された。
- 8 **面影の都(水川きよし)** 作詞：仁井谷俊也 作曲：社奏太郎  
9枚目のシングル。大阪を舞台にした1曲で、シングル7作連続オリコンウィークリートップ10入りした。
- 9 **逢えて…横浜(五木ひろし)** 作詞：悠木圭子 作曲：鈴木淳  
100枚目のシングル。「よこはま・たそがれ」以来となる横浜を題材にしたシティー・ポップス。
- 10 **暖簾(五木ひろし)** 作詞：永井龍雲 作曲：永井龍雲 (山川 豊)  
59枚目のシングル。フォークシンガーの永井龍雲を作詞作曲に迎えた1曲で、演歌以外の様々なジャンルの音楽家にも出会い、歌の幅を広げていった。
- 11 **雨の棧橋(森進一)** 作詞：中山大三郎 作曲：中山大三郎 (田川寿美)  
39枚目のシングル。2021年【昭和歌謡ベストテンDX】の【女の情念】特集で三山ひろしが同曲をカバーした。
- 12 **新宿・みなと町(森進一)** 作詞：麻生香太郎 作曲：西谷翔  
46枚目のシングル。東京・新宿に多くの人々が離れては戻ってくる様子を、港町になぞらえた1曲。デビュー以来在籍したナベプロから独立後の第1弾。
- 13 **北の螢(森進一)** 作詞：阿久悠 作曲：三木たかし (伍代夏子)  
62枚目のシングル。同年公開の東映の同名映画『北の螢』の主題歌として制作された。
- 14 **望郷酒場(千昌夫)** 作詞：里村龍一 作曲：桜田誠一  
31枚目のシングル。第32回紅白歌合戦で歌唱した。
- 15 **霧情のブルース(加門亮)** 作詞：吉田旺 作曲：徳久広司  
6枚目のシングル。「男の慕情」「霧情のブルース」「麗子」と連続ヒットし、「霧情のブルース」と「麗子」は日本有線大賞最多リクエスト曲賞を受賞。
- 16 **小樽の灯(青江三奈)** 作詞：吉川静夫 作曲：渡久地政信  
42枚目のシングル。北海道内で主に活動する歌手・明江三奈のことを「私の妹分、“北海道の青江三奈”として頑張ってる」と応援していた。
- 17 **盛岡ブルース(青江三奈)** 作詞：つのかけ芳克 作曲：つのかけ芳克  
49枚目のシングル。NHK「あなたのメロディ」年間最優秀曲賞。
- 18 **大阪ブルース(青江三奈)** 作詞：水木かおる 作曲：鈴木邦彦  
56枚目のシングル。青江三奈のカラオケ人気曲ランキングでも上位に入る。
- 19 **そんなナイト・パブ(増位山太志郎)** 作詞：水木怜 作曲：徳久広司  
「そんな女のひとりごと」の翌年に発表したシングル。師匠でもある実父からのアドバイスもあり、現役力士時代からムード歌謡・演歌歌手として活動した。
- 20 **意気地なし(森雄二とサザンクロス)** 作詞：高島じんこ 作曲：中川博之  
3枚目のシングル。「さようなら幸せに」でデビュー。「意気地なし」「足手まとい」とヒット曲を世に送り出し、1981年「好きですサッポロ」が大ヒットした。

# DVDカラオケ全集 100 BEST HIT SELECTION

## 収録曲データカタログ



¥10,000 (税別)  
5枚組DVD-BOX

※本DVDには歌唱は入っていません。



**DISC1 卒業 なつかしの青春メロディ**

- 1 **卒業(尾崎豊)** 作詞：尾崎豊 作曲：尾崎豊  
4枚目のシングル。オリコン最高位20位で、初のランキング入りし、反抗する10代の象徴的な存在となった。1984年頃から、全てのコンサートツアーで演奏された。
- 2 **15の夜(尾崎豊)** 作詞：尾崎豊 作曲：尾崎豊 (島津亜矢)  
1枚目のシングル。14歳の時の友人の家出を題材とした曲。尾崎の死後、生前最後のライブ演奏バージョンが「15の夜(ライブ)」としてリリースされた。
- 3 **シェリー(尾崎豊)** 作詞：尾崎豊 作曲：尾崎豊 (中村あゆみ)  
2枚目のアルバム「帰郷」に収録されている。ライブではアンコールの際に演奏されることが多かった。この楽曲を題材にした映画が2014年に公開された。
- 4 **赤いスイートピー(松田聖子)** 作詞：松本隆 作曲：呉田軽穂 (徳永英明)  
8枚目のシングル。松任谷由実(呉田軽穂)作曲による最初の提供曲。デビュー35周年の2015年、紅白歌合戦の大トリで初歌唱した。
- 5 **渚のバルコニー(松田聖子)** 作詞：松本隆 作曲：呉田軽穂 (中川翔子)  
9枚目のシングル。2008年、中島みゆきと共演した富士フィルム化粧品「ASTALIFT (アスタリフト)」のCMで使用された。
- 6 **夏の扉(松田聖子)** 作詞：三浦徳子 作曲：財津和夫  
5枚目のシングル。財津和夫作曲による2枚目のシングルであり、1981年の紅白歌合戦で歌唱した。資生堂「エクボ」ミルキィフレッシュのCMソング。
- 7 **白いパラソル(松田聖子)** 作詞：松本隆 作曲：財津和夫  
6枚目のシングル。TBS系『ザ・ベストテン』の番組史上初となる初登場での1位を獲得した。
- 8 **裸足の季節(松田聖子)** 作詞：三浦徳子 作曲：小田裕一郎  
デビュー曲。資生堂の「エクボ洗顔フォーム」のCMモデルのオーディションを受けたが、エクボができないために不合格となり、かわりにCMソングを歌うことになった。
- 9 **恋する夏の日(天地真理)** 作詞：山上路夫 作曲：森田公一  
7枚目のシングル。売上はオリコン集計では50.2万枚。この曲で「第24回NHK紅白歌合戦」に2度目の出場を果たした。
- 10 **潮風のメロディ(南沙織)** 作詞：有馬三恵子 作曲：筒美京平  
2枚目のシングル。イントロは、沖縄出身の本人にあわせ「南の海からやってきた少女」というイメージで、潮風の香りが漂ってくるようなアレンジになっている。
- 11 **草原の輝き(アグネス・チャン)** 作詞：安井かずみ 作曲：平尾昌晃 (榊原郁恵)  
3枚目のシングル。シングル累計売上は100万枚。翌1974年の選抜高校野球の入場行進曲に選ばれた。タイトルは、エリア・カザンの映画『草原の輝き』に由来する。
- 12 **サンタモニカの風(桜田淳子)** 作詞：阿久悠 作曲：萩田光雄  
26枚目のシングル。第30回NHK紅白歌合戦で歌唱した。ナショナルエアコン「楽園」のCMソング。2007年にカバー曲がロッテ「ACUO」のCMソングに起用された。
- 13 **春一番(キャンディーズ)** 作詞：穂口雄右 作曲：穂口雄右  
9枚目のシングル。「第27回NHK紅白歌合戦」で2年連続出場を果たした際に歌唱し、1978年の解散コンサート時点でのシングル売上は累計49万枚。
- 14 **愛が生まれた日(藤谷美和子&大内義昭)** 作詞：秋元康 作曲：羽場仁志 (May J.)  
藤谷美和子の歌手としてのデビューシングル。藤谷主演のドラマ『そのうち結婚する君へ』の挿入歌。シングルチャートで132万枚のミリオンセラーを達成。
- 15 **まちぶせ(石川ひとみ)** 作詞：荒井由実 作曲：荒井由実  
1976年に三木聖子への提供曲として作られシングルが発売された。1981年に石川ひとみのカバーシングルが発売され、石川の最大のヒット曲となった。
- 16 **センチメンタル・ジャーニー(松本伊代)** 作詞：湯川れい子 作曲：筒美京平 (前島亜美)  
デビュー・シングル。売上は自身最大のヒット作品 (34.3万枚) となり、代表曲となった。ロッテ「ガーナチョコレート」のCMソングに起用された。
- 17 **この広い野原いっぱい(森山良子)** 作詞：小園江圭子 作曲：森山良子  
森山良子のデビュー曲。東京・銀座の画廊を訪れた際に見つけたスケッチブックの詩に30分で曲をつけたといわれている。
- 18 **夢の途中(来生たかお)** 作詞：来生えつこ 作曲：来生たかお  
薬師丸ひろ子のデビュー曲「セーラー服と機関銃」は競作曲。映画の主題歌も当初は来生たかおが歌う予定だったが、監督の意向で薬師丸ひろ子が歌唱した。
- 19 **虹と雪のパラード(トワ・エ・モワ)** 作詞：河野文一郎 作曲：村井邦彦 (ジャッキー・吉川とブルー・コメッツ)  
1972年札幌オリンピックのテーマソング。複数歌手による競作となったが、『第22回NHK紅白歌合戦』でトワ・エ・モワが歌唱した。
- 20 **淋しい熱帯魚(Wink)** 作詞：及川眠子 作曲：尾関昌也  
5枚目のシングル。オリコン初登場1位を獲得し、『第40回NHK紅白歌合戦』に初出場し歌唱した。

## DISC 2 小指の想い出 ベストヒット歌謡

- 小指の想い出(伊東ゆかり)** 作詞：有馬三恵子 作曲：鈴木淳36枚目のシングル。この曲で「第18回NHK紅白歌合戦」に5回目の出場を果たした。翌1968年に続けてヒットした「恋のしずく」などと同様に伊東の代表曲。
- 他人の関係(金井克子)** 作詞：有馬三恵子 作曲：川口真（**一青窈**）31枚目のシングル。公称売上は100万枚を突破、「第24回NHK紅白歌合戦」出場曲。独特のスカットをフィーチャーしたイントロ・間奏・振付が特徴。
- 新宿そだち(大木英夫&津山洋子)** 作詞：別所透 作曲：遠藤実新宿の夜の街を舞台としたデュエット曲。オリコン週間チャート最高7位。2人はこの曲を主題歌とする映画にも本人役で登場している。
- 霧笛が俺を呼んでいる(赤木圭一郎)**作詞：水木かおる 作曲：藤原秀行日活映画『霧笛が俺を呼んでいる』の主題歌。愛称はトニー、「和製ジェームズ・ディーン」とも呼ばれた。ゴーカートを運転中の事故で21歳の若さで死去した。
- 夜空(五木ひろし)** 作詞：山口洋子 作曲：平尾昌晃11枚目のシングル。デビュー35周年記念として「第50回NHK紅白歌合戦」で紅白初披露し、第68回紅白でも平尾昌晃への追悼を込めて2度目の歌唱をした。
- 夕月(黛ジュン)**作詞：なかにし礼 作曲：三木たかし（**由紀さおり**）5枚目のシングル。作曲の三木たかしは実兄。本楽曲をもとに黛主演による映画『夕月』が松竹から公開され、相手役の森田健作のデビュー作となった。
- 紅い花(あきなおみ)** 作詞：松原史明 作曲：杉本真人（**すぎもとまさと**）34枚目のシングル。夫の郷鏝治と死別して以来、無期限の芸能活動休止中となっているため、この曲が最後のオリジナルシングルとなっている。
- 銀色の道(ダーク・ダックス)** 作詞：塚田茂 作曲：宮川泰（**ザ・ピーナッツ**）ザ・ピーナッツとの競作。歌詞を塚田茂から渡されたとき、少年期を過ごした北海道紋別市の鴻之舞に重なる内容だったと語っている。
- 銀座の女(森進一)** 作詞：川内康範 作曲：曾根康明17枚目のシングル。デビュー5年目の曲で、森はこの曲を作曲した曾根康明に対する感謝の追悼コメントを残している。
- メランコリー(梓みちよ)** 作詞：喜多條忠 作曲：吉田拓郎（**研ナオコ**）この曲で紅白に通算10回目の出場を果たし、レコーディングで梓は、吉田拓郎に「思い切って下手クソにやってほしいんです」と言われたという。
- 男の子女の子(郷ひろみ)** 作詞：岩谷時子 作曲：筒美京平デビュー曲。キャッチフレーズは「フォーリーブスの弟」。新御三家の中で歌手デビューが一番遅かったが、最初にオリコンのベスト10入りした。
- ハリウッド・スキャンダル(郷ひろみ)** 作詞：阿木耀子 作曲：都倉俊一28枚目のシングル。前作のTBSテレビドラマ『ムー一族』の挿入歌「林檎殺人事件」が『ザ・ベストテン』で自身初の第1位を獲得した。
- YOUNG MAN (Y.M.C.A.)(西城秀樹)** 作詞：V.Willis・H.Belolo・訳詞：あまがいりゅうじ 作曲：J.Morali（**渋谷哲平**）28枚目のシングル。第52回選抜高等学校野球大会の入場行進曲にも選ばれ、第30回・45回・46回NHK紅白歌合戦で歌唱した。
- ハートのエースが出てこない(キャンディーズ)** 作詞：竜真知子 作曲：森田公一8枚目のシングル。事実上のラスト・シングル「微笑がえし」には、同タイトルとは逆に「ハートのエースが出てきましたよ」という歌詞がある。
- 港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ(ダウンタウン・ブギウギ・バンド)** 作詞：阿木耀子 作曲：宇崎竜童（**横浜銀蠅**）4枚目のシングルで、阿木耀子の作詞家デビュー作。オリコンチャートで5週連続1位を獲得、「第26回NHK紅白歌合戦」に初出場し歌唱した。
- さらば青春(小椋佳)** 作詞：小椋佳 作曲：小椋佳初出場した第45回紅白歌合戦でこの曲を歌唱。大阪ガスの企業CM曲としても採用され、「みんなのうた」でも取り上げられた。
- 夢想花(円広志)** 作詞：円広志 作曲：円広志1枚目のシングル。大ヒットしたこの曲以降ヒットに恵まれなかったが、作曲（本名の「篠原義彦」名義）を担当した森昌子の「越冬つばめ」が大ヒットした。
- 聖母たちのララバイ(岩崎宏美)** 作詞：山川啓介 作曲：木森敏之28枚目のシングル。発売2週目にオリコンシングルチャートで1位を獲得、130万枚を超える大ヒットを記録した。原題は「聖母の子守歌」。
- なのにあなは京都へゆくの(チェリッシュ)** 作詞：脇田なおみ 作曲：藤田哲朗デビューシングル。当時のチェリッシュは5人組だったが、『ひまわりの小径』以降、男女デュオとなった。失恋ソングであり、京都のご当地ソングとしても知られる。
- かもめはかもめ(研ナオコ)** 作詞：中島みゆき 作曲：中島みゆき（**中島みゆき**）16枚目のシングル。アルバム1曲として中島みゆきから提供された曲だが、後にシングルカットされ、研にとつての代表曲となった。

## DISC 3 恋のフーガ オールディーズ&ロカビリー

- 恋のフーガ(ザ・ピーナッツ)** 作詞：なかにし礼 作曲：すぎやまこういち「恋のオフエア」「恋のロンド」などの「恋」シリーズの楽曲の一つ。作詞のなかにし礼は、この作品の功績で1967年の日本レコード大賞作詞賞を受賞している。
- 恋のバカンス(ザ・ピーナッツ)** 作詞：岩谷時子 作曲：宮川泰（**田中美奈子**）前年の「ふりむかないで」に続くヒット曲。当時のソビエト連邦国営放送局の東京特派員が本曲を気に入り、本国に持ち込みロシア語歌詞で大ヒットさせた。
- ふりむかないで(ザ・ピーナッツ)** 作詞：岩谷時子 作曲：宮川泰和製ポップス最初期のヒット作品であり、岩谷時子・宮川泰コンビによる初のヒット曲。ザ・ピーナッツ主演の東宝映画『私と私』では劇中歌として登場した。
- 涙の太陽(エミー・ジャクソン)** 作詞：R.H.Rivers 日本語詞：湯川れい子 作曲：中島安敏（**安西マリア**）デビュー曲。発売当初は洋楽扱いだったが、ラジオでのプロモーションの効果で70万枚を売り上げる大ヒットとなった。
- 砂に消えた涙(弘田三枝子)** 作詞：Alberto Testa 作曲：Piero Sofficil 訳詞：連健児（**伊東ゆかり**）21枚目のシングル「はじめての恋人」のB面に収録。イタリアの歌手ミーナの楽曲だが、日本語詞は連健児が弘田三枝子が歌うことを想定して書いた。
- 私のベイビー(弘田三枝子)** 作詞・作曲：Philip Spector・Ellie Greenwich・Jeff Barry 訳詞：連健児（**伊東ゆかり**）15枚目のシングル。ザ・ロネットスの「ビー・マイ・ベイビー (Be My Baby)」のカバー曲。

- VACATION(ヴァケーション)(弘田三枝子)** 作詞・作曲：Connie Francis・Hank Hunter・Gary Knight 訳詞：連健児（**青山ミチ**）7枚目のシングル「リトル・ミス・ロンリー」のB面に収録。伊東ゆかりなどとの競作カバー曲だが、弘田三枝子盤が20万枚のヒットとなった。
- ロコモーション(伊東ゆかり)** 作詞・作曲：Gerry Goffin・Carole King 訳詞：あらかはひろし13枚目のシングル「ヴァケイション」のB面に収録。リトル・エヴァが1962年にリリースした曲のカバー。
- 夢みる想い(伊東ゆかり)** 作詞：Mario Panzeri 作曲：Nicola Salerno・Nisa 訳詞：あらかはひろし（**ジリオラ・チンクェッティ**）ゆかりのヒット・パレード第4集に収録。第15回紅白歌合戦に「スパーク3人娘（中尾ミエ・伊東ゆかり・園まり）」で出場し歌唱した。
- 可愛いベイビー(中尾ミエ)** 作詞・作曲：D.Stirling・B.Nauman 訳詞：連健児デビュー曲。第13回紅白歌合戦に初出場した。コンー・フランスの“Pretty Little Baby”の競作カバー曲だが、中尾ミエ盤は100万枚を売り上げる大ヒットとなった。
- アイドルを探せ(中尾ミエ)** 作詞・作曲：C.Aznavour・G.Garvarentz 訳詞:安井かずみ（**シルヴィ・ヴァルタン**）20枚目のシングル。シルヴィ・ヴァルタンの“La Plus Belle Pour Aller Dancer”のカバー。シルヴィ・ヴァルタン盤は、特に日本でヒットした。
- パイナップル・プリンセス(田代みどり)** 作詞・作曲：Richard Sherman・Robert Sherman 訳詞：連健児（**松島トモ子**）アネット・ファニセロのオリジナルと同時期の競作カバーで大ヒットした。のちに田代は三原綱木と「つなき&みどり」を結成、「愛の挽歌」が大ヒットした。
- ジョニー・エンジェル(森山加代子)** 作詞・作曲：Lee Pockriss・Lyn Duddy 訳詞：みなみかずみシェリー・フェブレーのカバー。「五ひきの仔ブタとチャールストン」のB面に収録。A面の「五ひきの仔ブタとチャールストン」は第13回紅白歌合戦で歌唱された。
- ジェニ・ジェニ(鈴木やすし)** 作詞・作曲：Richard Penniman・Enotris Johnson 訳詞：連健児リトル・リチャードのカバー。80歳を過ぎて「徹子の部屋」に出た際、「ジェニジェニで、ここまで生きてきました」と話した。
- ロッカ・フラ・ベイビー(ささきいさお)** 作詞・作曲：Benjamin Weisman・Fred Wise・Dolores Fuller 訳詞：連健児プレスリーの曲で、1961年の映画「ブルーハワイ」で演奏された曲のカバー。ロカビリー歌手としてデビューした当時のキャッチフレーズは「和製プレスリー」。
- 電話でキッス(飯田久彦)** 作詞・作曲：Leonard Whitcup・Earl Wilson 訳詞：連健児（**ポール・アンカ**）ポール・アンカが発表したポップスのカバー。大ヒットした「レিজアナ・ママ」のB面に収録。第13回紅白歌合戦では「レিজアナ・ママ」を歌唱した。
- ミヨちゃん(平尾昌晃)** 作詞：平尾昌晃 作曲：平尾昌晃（**ザ・ドリフターズ**）元歌は戦前から中学生の間で流行していた作曲者不詳の歌で、平尾は高校生の頃に覚え、それを時代（1960年当時）向けの歌詞をつけてリメイクした。
- ヘイ・ポーラ(HEY,PAULA)(田辺靖雄・梓みちよ)** 作詞・作曲：Raymond Hildebrand・訳詞：みなみかずみアメリカの男女デュオ、ポールとポーラのカバー。原曲は1963年に発表され、全米第1位を獲得した。
- ダニー・ボーイ(アイルランド民謡)** 作詞：F.E.Weatherly 作曲：アイルランド民謡「ロンドンダリーの歌」として知られる旋律に歌詞を付けたもの。両親や祖父母が戦地に赴く息子や孫を送り出すという設定で解釈されることが多い。
- LOVE ME TENDER(エルヴィス・プレスリー)** 作詞・編曲：Elvis Presley・Vera Matson原曲はアメリカ大衆歌謡の「オーラ・リー」で、プレスリーらが新たに歌詞を載せた。プレスリーの初主演映画『やさしく愛して』の主題歌として制作された。

## DISC 4 翼をください ニューミュージック&グループサウンズ

- 翼をください(赤い鳥)** 作詞：山上路夫 作曲：村井邦彦（**山本潤子**）4枚目のシングル「竹田の子守唄」のB面に収録。昭和45年の音楽フェスティバルで発表され、その後も合唱曲として歌い継がれている。
- 大空と大地の中で(松山千春)** 作詞：松山千春 作曲：松山千春（**島津亜矢**）ファーストアルバム「君のために作った歌」に収録。北海道のご当地ソングで、出身地の足寄町の道の駅『あしよる銀河ホール21』の場内で流れている。
- 長い夜(松山千春)** 作詞：松山千春 作曲：松山千春10枚目のシングル。松山の楽曲の中では異色のロック風な曲であったため、シングル発売に反対の意見があった。松山自身の最大のヒット曲となった。
- 思えば遠くへ来たもんだ(海援隊)** 作詞：武田鉄矢 作曲：山木康世（**古谷一行**）12枚目のシングル。映画「思えば遠くへ来たもんだ」の主題歌。元々は国鉄のキャンペーンソングとして作られたが、谷村新司の「いい日旅立ち」が採用された。
- 秋の気配(オフコース)** 作詞：小田和正 作曲：小田和正（**辛島美登里**）11枚目のシングル。詞は“女にふられたみたいな経験がなかったから書けた”という。当時、ファンクラブのアンケートで必ず1位になった。
- 冬の稲妻(アリス)** 作詞：谷村新司 作曲：堀内孝雄11枚目のシングル。発売当初は売上も伸び悩んだが、翌年になってアリスとして初めてオリコンの週間BEST10入りし大ブレイクした。
- 白い冬(ふきのとう)** 作詞：工藤忠行 作曲：山木康世デビューシングル。「吉田拓郎のオールナイトニッポン」で曲がかかったことをきっかけに大ヒットしたといわれる。
- 銀河鉄道9 9 9(ゴダイゴ)** 作詞：奈良橋陽子・山川啓介 作曲：タケカワユキヒデ11枚目のシングル。映画版『銀河鉄道999 (The Galaxy Express 999)』の主題歌。TVスペシャル版のオープニングテーマ。
- ビューティフル・ネーム(ゴダイゴ)** 作詞：伊藤アキラ・奈良橋陽子 作曲：タケカワユキヒデ（**キャロライン洋子**）9枚目のシングル。NHKのミニ番組『世界のこども』挿入歌。第30回と第50回紅白歌合戦で歌唱した。2021年、東京パラリンピック閉会式にて同曲が使用された。
- かもめが翔んだ日(渡辺真知子)** 作詞：伊藤アキラ 作曲：渡辺真知子2枚目のシングル。売り上げはデビュー曲「迷い道」には及ばなかったものの、この曲で第20回日本レコード大賞最優秀新人賞を受賞した。
- シーズン・イン・ザ・サン(TUBE)** 作詞：亜蘭知子 作曲：織田哲郎（**織田哲郎**）3枚目のシングル。前作が全くヒットせず「この曲で売れなかったらもうダメだよ」と言われた中での大ヒット。この曲でひとつのスタイルを確立した。
- ダンシング・ヒーロー(Eat You Up)(荻野目洋子)** 作詞：T.Baker・A.Kyte・訳詞:篠原仁志 作曲：T.Baker・A.Kyte7枚目のシングル。歌手デビュー以来初めてオリコン週間チャートトップ10入りを果たし、第37回NHK紅白歌合戦に初出場を果たした。
- みずいろの雨(八神純子)** 作詞：三浦徳子 作曲：八神純子5枚目のシングルで、最大のヒット曲。東京・原宿の歩道橋で不意に曲想を得て作曲し、後に作詞した三浦徳子の作詞家としての出世作にもなった。